



錫山小・中学校

令和5.11.1 発行

〒891-0144
鹿兒島市下福元町9856
TEL 263-2001
FAX 263-2002
<http://keinet.com/suzuyac/index.htm>

実りの秋に豊かな読書体験を！
学校長 伊東 智志

時を越え、時には国境を越え、思うがままに心の旅をさせてくれる読書。深く静かに人間をつくってくれる読書。ある人は「本は、かけがえない人生の伴侶」と言い、また、ある人は「読書は、大きな財産」と言っていました。本との出会い、喜び、そして感動。誰もが一度は経験したことがあるのではないのでしょうか。

本校では十月に校内読書旬間があり、読書に関する様々な取組を行いました。読書ゆうびんコーナーの設置、鹿児島ことばあそびうたカルタ大会、大型絵本の読み聞かせ、しおり作り、教職員による読み聞かせ（小学校教職員が中学生に、中学校教職員が小学生に読み聞かせ）などを実施しました。

秋の夜長、静かに書物に親しむ絶好の時期かと思えます。毎月二十三日は親子読書の日となっています。まだ実践されていない御家庭は、ぜひ、月に一日でも親子で読書をする機会を作ってみられてはいかがでしょうか。

子どもを読書好きにする一つに、読み聞かせがあります。本を読んでもらうことが好きな子どもたちは多いです。それは、字を読まずに楽しんでいるからではありません。絵本を読んでもらうことによって、読み手の愛情を感じることができるところです。（読み手の深い愛情に支えられて、子どもは心豊かで健康に育つのです。）まずは、読書の楽しさや読書の喜びを味わわせることから始めましょう。また、本を読むことによって、語彙（い）が豊富になり、字がすらすら読める、心が豊かになる、想像力がつく、物事を深く考えるようになる、忍耐力がつくなど、読書には、多くの効果があるといわれます。だからといって、子どもに「〇〇ができるようになるから本を読みなさい。」と結果を求めて読書を勧める、子どもは本好きにはなりません。親子そろってのゆったりとした時間の中で、本の面白さが分かる豊かな読書体験から始めるのが大切だと思います。



秋の豊かな実りに感謝！芋掘り

地域のみなさんの力をかりて育ててきたサツマイモを十六日に収穫しました。大きなイモを掘り起こすたびにうれしい声が上がりました。秋の味覚として、収穫したイモを十一月の給食で食べます。楽しみです。



郷土の誇り・大島紬について学ぶ

大島紬を題材にした伝統工芸教室を十八日に中学校で実施しました。染色や貴重な紬の着付け体験をして郷土の宝である伝統工芸を学びました。現代でも通じる古き伝統の美やよさ、可能性を実感しました。



みんなで踊りを楽しむ！谷山ふるさと祭

二十二日に今年度も地域と一緒に谷山ふるさと祭・踊り連に参加しました。地域・子ども・保護者・教職員ともに踊りを楽しみました。練習から積み上げてきた一体感のある踊りを披露することができ、すてきな秋の思い出になりました。



すてきな本との出会いを！校内読書旬間

今月は校内読書旬間の一環として、読みきかせ、郷土かるた大会、しおりづくりの企画を実施しました。きつとたくさんの本との出会いがあったことでしょうか。



アスリートのすごさに感激！国体応援

五十年に一度のかごしま国体（陸上競技）の応援に全校児童生徒で行ってきました。会場の独特の雰囲気の中、アスリートの精一杯の力走等を目にしました。この日感じた興奮は忘れられないことでしょう。



十一月の主な行事

- 二日(木)学校自由参観・道徳参観・学校保健委員会
- 三日(金)錫山相撲大会
- 五日(日)校区資源物回収※予備十九日
- 九日(木)市中学音楽会
- 十一日(土)土曜授業・学習発表会
- 十三日(月)避難訓練(地震)
- 十四日(火)椋鳩十賞受賞者交流事業
- 十五日(水)南特支学校訪問(家庭教育学級)
- 十七日(金)生活科・社会見学学習(小)
- 中三PTA・就学時健康診断
- 二六日(日)校区秋まつり
- 二八日(火)盲学校交流学習(小)
- 二九日(水)期末テスト(中)〜十二月一日
- 三十日(木)市スクールカウンセラー

